



## 国際熱帯木材機関 (ITTO) ニュースリリース

### 熱帯林への新資金として 1680 万米ドル

テーマ別プログラムによって追加資金を獲得、11 の新規プロジェクトが発足、外部会合への資金も約束

2010 年 12 月 18 日、横浜

国際熱帯木材理事会 (ITTC) は第 46 回理事会の閉会挨拶で熱帯林の保全と持続可能な経営、そして熱帯林資源の利用と取引に関する 1680 万米ドルの追加資金を発表しました。そのうち、450 万米ドルがパイロット事業であるテーマ別プログラムの Reducing Deforestation and Forest Degradation and Enhancing Environmental Services in Tropical Forests (REDDES) へ、1230 万ドルがその他のテーマ別プログラムと新規プロジェクト、活動に充てられます。

国際熱帯木材機関 (ITTO) の管理機関である理事会は、少なくとも年 1 回開催され、持続可能な森林経営と熱帯木材取引を促進するための広範な議題について協議を行います。

理事会で支援が約束された資金によって、13 件のプロジェクトと 1 件の予備プロジェクト (2 件の現在実施中のプロジェクトを含む) がサポートを受けます。その中の新規プロジェクトのひとつは、グアテマラでの統合的森林火災管理の促進であり、もうひとつはカメルーン、コンゴ、ガボンでの越境保全地帯のさらなる開発です。また、タイとカンボジア間のエメラルドトライアングル地域の保全と管理に対しても、かなりの資金提供を受けました。さらには、インドネシアにおける非木材森林製品の持続可能な利用を促進させるための事業やブラジル、アマゾン川流域の地域森林経営への支援に対する資金にも充てられます。他には、中国での持続可能なマングローブ林管理や、世界のマングローブ地図 (2010 年出版、英語) へのフランス語とスペイン語版への増刷資金なども含まれます。一次産品共通基金 (CFC) は ITTO の事業を引き続き支援し、カメルーンでの木質燃料プロジェクトとコンゴ川流域での木材加工について資金を提供します。

パイロット事業である 4 件のテーマ別プログラム実施に対しては、理事会で約束された 550 万米ドルが支援を受けますが、その内およそ 100 万米ドルが森林法施行と地域での森林経営と参加、取引と市場の透明性に関する ITTO のテーマ別プログラムに使われます。2011 年始めに予定の提案募集がこれらのテーマ別プログラム内での新たなプロジェクトとなります。

また、およそ 300 万米ドルが ITTO の 2010 年から 2011 年の 2 年間にわたるいくつかの事業へ提供されることが約束されました。気候変動に関する事業と森林経営に関する報告にも資金提供を受けました。四半期ごとの熱帯森林ニュースレターと隔週発行の市場情報サービスについても継続できる資金が Bali Partnership Fund (BPF) を通し得られました。追加資金については ITTO の実施中プログラムである絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 (CITES) リストに掲載されている熱帯木材種要件実施と広報、普及活動に与えられます。フリーザイラー奨学金もまた理事会により承認され、この貴重なプログラムが引き続き奨学金をその値する候補者に提供できることになりました。

理事会における資金提供国は日本、ノルウェー、スイス、米国、ドイツ、中国、フィンランドと韓国です。また BPF、一次産品共通基金 (CFC)、加盟国の機関、民間企業なども含まれます。すべての新規資金提供を受けたプロジェクトと活動のリストについては次号の ITTO 熱帯森林ニュースレターで記載予定です。

第 46 回国際熱帯木材理事会 (ITTC) ではいくつかの重要な決定事項を採択しました。そのうちのひとつは、長期的解決策として ITTO の本部所在地である横浜以外での理事会開催への資金提供が挙げられます。ITTC はこの決定事項に沿って、2011 年の第 47 回理事会をグアテマラのグアテマラシティで、2012 年の第 48 回理事会は横浜、そして 2013 年の第 49 回理事会をガボンのリーブルヴィルで開催することを発表しました。その他の決定事項は ITTO と CBD, CITES との関係を正式化すること、ITTO の資金調達について、より柔軟

な仕組みを作ることなどです。理事会はさらに、偶然にも ITTO 設立 25 周年にあたる 2011 年の国際森林年での ITTO の活動に資金を提供する決定も採択しました。また、現 ITTO 事務局長のエマニュエル・ゼ・メカ氏が 2 期目（2011 年～2015 年）に再任されました。

理事会はまた、2006 年の国際熱帯木材協定（ITTA）についての加盟国の批准状況についてもレビューを行いました。現在発効している条約である 1994 年の ITTA を引き継ぐこの新条約発効が遅れている理由は、加盟国の批准ペースが遅いことにあります。いくつかの加盟国は現在批准にあたっての最終段階を迎えており、その結果次第では 2011 年には新条約が発効されることになります。

ITTO に関する詳細と第 46 回国際熱帯木材理事会 (ITTC) については、[www.ito.int](http://www.ito.int) をご覧ください。